

◇『いろんな逆流が起こり始めている』

理事 木田洋一

先月“流れの逆転と値上げラッシュ”について、皆さんは、マイナスだけど仕方がないので恐る恐るやる、できればこそとやりたい等と思っているようだが、もう「逆転の発想が必要なのでは？」と書きました。頭だけではなく身体にもどっぷりと染み着いた「安さが善」という発想を捨て去って、一度、今の時代、これからの時代を感じる事が、流れの変わり目の広報戦略では一番大事ではないでしょうか、と言いました。そして、単に物価の値上だけが逆転し始めているのではなく、いろんなところで逆流が始まろうとしていると思います。

コロナ禍後は、日本ではなかなか進まなかったリモート会議、在宅勤務や印鑑の廃止、書類のデータ化などのIT化は、**日常**の生活が戻ってもどんどん進むはずで、その中で“対面”にメリットがある部分も明確になり、リアルとデジタルの棲み分けが進みます。

他にいま起こっている変化には、どんなことがあるのでしょうか？

ウクライナ問題から世界で循環していた食糧の供給網が崩れ、万が一の時の食糧自給の必要性が叫ばれています。

ロシアへの経済制裁でエネルギー源についても考え直さないといけなくなりました。脱原発の先進国だったドイツが、原発の廃止の予定を先延ばしました。

まだ、まだあります。なんとなく平衡を保っていた各国の為替のバランスが大きく変り、円安が急速に進みました。これが、日本の物価の急激な値上圧力の原因だと言われています。一方で日本の不動産は急激に割安になったので、外資の不動産買いが進んでいます。まだ、コロナ禍の影響がありますが、円安は外国人にとって日本訪問のチャンスで、インバウンドの増加はコロナ前の比ではないと思われます。

たぶん、これまで当たり前だと思っていたことや前提にしていたことを、「これからも本当にそうなのか？」と見直し、だったら逆流の潮目を見極め新しい形を作っていくことがビジネスの基本だと思います。この変化を他社より半歩先に始めるだけではだめで、それこそPR広報することが、チャンスをつかむ上で一番大事なことではないでしょうか。

◇『大変化は挑戦者の時代』

代表理事 竹原信夫

◎時代とともに、ビジネスの評価も大きく変わってきます。

売り上げを伸ばして、利益をたくさんあげる会社が良い会社とされ、数字を追い求めました。

でも、今は数字だけでは評価されません。社会にどれだけ良いことをしているか？によって、ホワイト企業、ブラック企業のレッテルが貼られてしまいます。

◎取材目的はGX

先日、取材した会社は兵庫県の中でも、神戸市内から車で2時間近くかかる地方にありました。取材目的はGXでした。デジタルのDXと並んで産業界で最も注目されている言葉です。

グリーントランスフォーメーション。温室効果ガスを発生させないグリーンエネルギーへの転換。産業構造や社会経済を変革、成長につなげるものです。

◎ ソーラービジネス

具体的には、地球温暖化への対策としてのカーボンニュートラルです。こちらの会社は、繊維会社ですが、会社としてのカーボンニュートラルを完全に達成されました。

そのきっかけは、今から約 10 年前のソーラービジネスにありました。当時、太陽光発電は、政府をあげて推進されることになり、「政府がやる事業は間違いない」と思われ、繊維以外の収益アップを目指しいち早くソーラービジネスを始められました。

◎ 資金調達に苦労

会社の規模にしては、投資額があまりにも大きく、民間の金融機関はどこも応援してくれなかったそう。政府系金融機関からの資金調達で何とか動き出しました。

都心部から離れた郊外なので、用地はたくさんあります。自社工場も閉鎖され、そこにソーラーパネルを設置されました。

◎ 4 メガのソーラービジネス

その面積は約 5 万㎡で、4 メガのソーラービジネスです。「最初だったので良い値段で電気を買ってもらえました。今も繊維事業の赤字をカバーしてくれています」と、社長さんは喜ばれます。

会社の財務環境を良くしてくれる一方、今や GX の先端企業としての高い評価を得ているのです。「工場フル稼働時で使う電気使用量の 1.5 倍から 1.6 倍の電気を再生しています。完全なカーボンニュートラルを達成した会社です」と胸を張られます。

◎ ペトロケミカルフリー

エネルギーだけではありません。肌にやさしい繊維製品にも取り組んでおられます。ホルマリンを一切使わない繊維製品に続いて、最近では石油系の化学薬品を全て除外したペトロケミカルフリー繊維製品の開発に初めて成功されました。

特殊な添加物を加えて実現、細番手の綿製品に仕上げました。石油系商品を全く使わない、天然素材 100% の自然環境と肌にもやさしい商品です。

◎ 活路は DX と GX

「敏感肌やアレルギーの人にもやさしい商品です。今後、ホテル用だけでなく、部屋着など一般消費者向けの商品開発にも力を入れたい」と期待されています。カーボンニュートラル、石油系排除のエコロジー生産。

繊維業界の大手企業顔負けの GX 戦略です。ポストコロナ時代の活路は、DX と GX と言われます。

◎ 一気に注目されそう

地方の隠れた会社ですが、優秀な人材を採用されて、GX を進めておられます。多分、こちらの会社は、ここ数年で一気に注目されそうです。

大変化の時代は、場所や規模は関係ありません。チャレンジャーが成功すると思います。